

「Ⅲ 信州創生の基本方針」の「信州らしさを伸ばす突破策」を具体化する「Ⅴ 施策展開」の主な施策

| 信州らしさを伸ばす突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|--|---|--|
| 1 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造 | 一人多役などの多様な働き方・自然と共生し人と人が支え合う暮らし方の促進 | ○ 近所の子どもの関わりをライフスタイルに取り入れる人を増やすため、子育てサポーターを育成 | ○ 長野県ならではの多様なライフスタイルの魅力を国内外に発信するため、ライフスタイルデザイン国際会議を開催 ○ 長野県での居住と大都市での仕事を両立できるようにするため、ふるさとテレワークの基盤を整備 | ○ 地域の課題解決に事業として取り組む産業を振興し、多様な働く場をつくるため、クラウドファンディングなど資金・ノウハウ面からスモールビジネス・ソーシャルビジネスを支援 ○ 多様な働き方を選択できるようにするため、短時間正社員、在宅勤務などを実践する企業を職場いきいきアドバンスカンパニーとして認証し、認証企業に対する減税について検討 | ○ 一人多役の暮らしを支えるため、NPOなどの民間事業者やJA長野県グループと連携・協働し、多様な生活サービスを提供 |
| | シニア層が元気に活躍できる人生二毛作社会の確立 | | ○ 定年帰農を目指す移住者を支援するため、シニア向けの栽培技術講座等を開催 | ○ シニアの知識と経験を企業や地域で活かすため、再就職・転職のマッチングを支援 | ○ 生涯現役で活動できるシニア層を増やし、地域の活力を保つため、信州ACE(エース)プロジェクトを推進 |
| | 子どものいる家庭や女性などの視点を大切にしたい官民一体での移住の促進 | ○ 結婚を機会とした田舎暮らしを望む大都市住民のため、結婚と移住のセット相談を実施 | ○ 相談から定着まで一貫した移住サポートのため、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の体制を強化し、企業の協力により移住希望者等へ特典を提供するなど、官民一体で移住施策を推進 ○ 移住者のスムーズな地域定着のため、市町村と連携し、移住者の相談を受けける移住コンシェルジュを認定 ○ 移住・二地域居住の促進、県民と大都市住民との交流拡大のため、交通事業者と連携し、交通費の負担軽減を検討 ○ 移住・就農を促進するため、女性農業者の活躍する姿や長野県の農業・農村の魅力を発信 | | ○ 豊かな自然環境の中での創作活動を望む芸術家やクリエイティブ人材等と地域との交流や移住・定住を促進するため、市町村と連携して、アーティスト・イン・レジデンスを推進 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|----------------------------------|--------------------------|--|---|--|---|
| | 人生を楽しむための文化やスポーツ等の振興 | ○ 自然の中で充実した子育てができるようにするため、指導者資格認定の仕組みづくりの支援や研修の充実など、信州型自然保育の取組を強化 | | ○ 豊かな自然環境を楽しめるようにするため、アウトドア・アクティビティ観光や山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを推進 | ○ 好きなスポーツを地域で気軽に楽しめるようにするため、地域スポーツクラブを普及・拡大 ○ 地域社会の維持・活性化や観光に活用するため、地域の文化財や伝統行事・芸能等の継承や情報発信を支援 |
| 2 若者の ライフ デザインの 希望実現 | 市町村、企業と連携した結婚支援の充実 | ○ 市町村や企業と連携して結婚を支援するため、しあわせ信州結婚支援センターを設置し、結婚相談企業の専門的知見も活用して情報発信と相談体制を強化 | ○ 結婚を機会とした田舎暮らしを望む大都市住民のため、結婚と移住のセット相談を実施 | | |
| | 産科医の確保や助産師の活用など出産環境の整備 | ○ 産科医を増やすため、産科等を目指す研修医へ研修資金を貸与 ○ 産科の体制を充実するため、産後ケアや院内助産所など、助産師や保健師の専門性を活かした取組を支援 | | | ○ 産科医が多い女性医師をはじめとする医師・看護師等が働きやすい環境を整備するため、院内保育所等での24時間保育や病児・病後児保育を支援 |
| | 子育て世代の経済的負担の軽減など子育て支援の充実 | ○ 地域全体で子育て家庭を応援するため、公共交通機関や美術館・博物館などの子ども料金割引等を促進 ○ 全市町村での妊娠から子育てまでの支援をワンストップで行う基盤（ネウボラ）づくりのため、母子保健コーディネーター配置や保健指導技術の向上を支援し、切れ目のない母子保健体制を構築 ○ 子育ての経済的負担を軽減するため、市町村が行う子どもに係る医療費の支援や第3子以降の保育料軽減経費を助成 ○ 子育てを企業とともに支援するため、経済界と連携し、企業による子ども手当の拡充を促進 | ○ 長野県の子育て環境の魅力を活かした移住促進のため、子育て世代の女性を対象とした移住セミナーを実施 ○ 自然の中での充実した子育てを望む大都市住民の移住にも資するため、指導者資格認定の仕組みづくりの支援や研修の充実など、信州型自然保育の取組を強化 | | ○ 担い手と質を充実するため、子育て支援団体のネットワーク化を促進 ○ 地域での子育て支援の担い手を増やすため、子育てサポーターを育成 ○ 出産・子育てに関わる人材を確保するため、圏域町村・地域医療機関等と連携し、保健師や保育士等の人材を共同確保する仕組みを構築 |

| 信州らしさを伸ばす突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|--------------------|-------------------------------|---|--|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの急病時でも仕事を優先せざるを得ない場合の保育需要に応えるため、病時・病後時保育を県内全ての広域圏で利用できるよう市町村を支援 ○ 多様な子育て支援体制を県民全体で構築するため、子育て支援税の導入を検討 | | | |
| | 多様な働き方の普及による出産・子育てと仕事の両立促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 非正規社員の処遇改善等に取り組む企業を増やすため、職場いきいきアドバンスカンパニーを認証し、認証企業に対する減税について検討 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てなどを理由に離職した女性の再就職支援のため、女性への就業相談を身近な地域で実施 ○ 出産を契機とした望まない退職を抑制するため、就業継続を希望する女性と職場復帰経験者との交流会や企業向けセミナーを実施 ○ 長時間労働の抑制や休暇取得の促進を検討するため、労働局や経済団体、労働団体等とともに働き方改革推進協議会を設置 | |
| 3 活力と循環の信州経済の創出 | 価格決定力のある製造業への転換、日本一創業しやすい県づくり | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 次世代産業の創出や厚みのある産業構造の構築のため、市町村や金融機関、大学と連携して、狙いを明確にした企業誘致を推進 ○ 県内企業と専門人材とのマッチングを推進するため、長野県プロフェッショナル人材戦略拠点を設置 ○ 企業OBの知識・能力を活用して製造業のカイゼン活動を支援するため、信州ものづくり生産革新インストラクター養成スクールの開設を支援 ○ 専門人材の採用によって県内企業の競争力を高めるため、県外在住の専門人材の採用に当たり、お試し就業等を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 付加価値が高く独自性のある製品づくりに取り組む企業の成長を支援するため、多分野の専門家や支援機関が連携するプラットフォームを構築 ○ 下請・受託加工型から提案・研究開発型の産業構造へ転換するため、技術シーズの提案から試作までの一貫支援、技術高度化支援を実施 ○ 企業の持続的な成長を促進するため、金融機関や専門家等と連携して、創業時から一定期間の事業活動を支援 ○ 伝統的工芸品の魅力向上と産地の活性化のため、デザイン・機能性の高い新製品開発や販路開拓、後継者の確保・育成等を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民の健康づくりを支援するため、従業員の健康増進に取り組む健康経営企業への支援、ヘルスケア関連企業と連携した住民の健康づくりの見える化等を検討 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|-------------------------------|----------|---|--|--|
| 多様な観光需要に 対応する観光業の 成長産業化 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ グローバルとローカルな視点を併せ持つ観光人材を育成するため、白馬高校に国際観光科を設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦略的な観光振興を地域一体で推進するため、地域の魅力をプロデュースするDMO(観光業を強化する地域における連携体制)の設置を支援 ○ 旅館・ホテル業の経営体質強化を促進するため、金融機関と連携して経営改善を支援 ○ 豊かな自然環境を楽しめるようにするため、アウトドア・アクティビティ観光や山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを推進 ○ インバウンドや滞在交流型観光を促進するため、新ゴールデンルート of 構築や無線LAN等の外国人受入環境の整備を促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市農村交流を通じた農山村活性化のため、グリーン・ツーリズムや学習旅行の受入れを促進 ○ 地域社会の維持・活性化や観光に活用するため、地域の文化財や伝統行事・芸能等の継承や情報発信を支援 ○ 交流人口の増加などの地域活性化につなげるため、県内プロスポーツやトップアスリートの活躍支援とトップレベル選手が集う大会誘致を推進 |
| サービス産業の高付加価値化・生産性向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小規模な本社機能・研究所の誘致を図るため、それらを対象とした県独自の助成制度を創設 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クリエイティブ人材の定着を図るため、住宅・オフィスの提供、県内企業家との交流等を支援 ○ 地域の課題解決に事業として取り組むサービス産業を振興するため、クラウドファンディングなど資金・ノウハウ面からスモールビジネス・ソーシャルビジネスを支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業と居住をまちなかへ集積するため、空き店舗などの遊休建物を活用した事業化を支援 |
| 農林業の高付加価値化・生産性向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 定年帰農を目指す移住者を支援するため、シニア向けの栽培技術講座等を開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業所得の向上を図るため、水田農業経営体の強化、県オリジナル品種の拡大など園芸農業の振興、革新的な農業技術開発・機械化等を推進 ○ 多様な6次産業化の取組を促進するため、関係団体と連携し、事業体の創出や経営規模拡大を支援 ○ 国内外の旺盛な需要を取り込むため、県産酒や農産物、加工食品のブランド力の向上と輸出を促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業・農村の多面的機能を維持するため、遊休農地の再生・活用や農業生産活動など、農業者等が取り組む地域活動を支援 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|------------------|---------------------|----------|---|---|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 安定的かつ効率的な木材生産を実現するため、信州F・POWERプロジェクトを起爆剤として県産材生産体制を強化 | |
| | バイ信州運動の展開など県内自給率の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の産業や産品など、地域を大切にすることを育むため、学校教育での実践を通じて信州学を確立 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県産農産物等の利用を促進するため、信州の食材毎日食べよう県民運動を展開 ○ 県産材の地消地産を進めるため、カラマツ等の新用途開発、県産材の販売体制づくりについて、需要サイドと連携 ○ 県産品を広く愛用してもらうため、知って、買って、使ってもらおう信州良品(バイ信州)運動を展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 野生鳥獣による農林業被害を防止する対策の一環として、野生鳥獣を食材として有効に活用するため、ジビエの需要拡大と安定供給を推進 |
| | エネルギー自立地域の確立 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住者の暮らしをサポートするため、県産材の活用や省エネルギー等に配慮した住宅改修を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然エネルギーを普及するため、金融機関と連携した発電事業や地域主導型の熱利用事業への支援、地域エネルギー人材の育成を推進 ○ エネルギーコスト抑制のため、既存住宅の省エネルギー性能向上改修を支援 ○ 環境配慮型の観光地づくりを促進するため、霧が峰をモデルとして電気自動車と木質バイオマスエネルギーを活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の元気を生み出すため、自然エネルギーの普及・拡大など、市町村や公共的団体が住民とともに取り組む事業を支援 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|----------------------|---------------------|---|--|--|--|
| 4 信州創生を担う人材の確保・育成 | 県内高等教育の充実による知の拠点づくり | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等教育の充実と県内就職の促進に取り組むため、信州高等教育支援センターを設置 ○ 県内大学の魅力向上のため、学部・学科の再編等や課題解決力・創造力ある人材の育成をセンターで支援 ○ 応用力を持った産業人材の育成・定着のため、県内にない学部・学科や、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関などの設置をセンターで支援 ○ 県内の大学収容力を高め、知の拠点を形成するため、新たな県立4年制大学を設立 ○ 県内大学の学生が大都市圏の大学の単位を取得できるようにするため、単位取得できる機会の提供を支援 ○ 次代を担う人材の定着を図るため、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)を県内大学とともに推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クリエイティブ人材の定着を図るため、住宅・オフィスの提供、県内企業家との交流等を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源の活用と地域課題の解決とともに図るため、市町村・住民と県内大学等とが一体となって行う集落の維持・再生の取組を支援 |
| | 多様な教育・人づくりの充実強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の中で充実した子育てができるようにするため、指導者資格認定の仕組みづくりの支援や研修の充実など、信州型自然保育の取組を強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの希望や状況に応じた学びの場を提供するため、国際性やスポーツ教育に特化した学校など特色ある学びの場の誘致・設置を促進 ○ 地域を大切にする心を育むため、学校教育での実践を通じて信州学を確立 ○ 子どもの社会性や人間性を育むため、自然や歴史・文化を活かして、学校登山や農林業などの体験学習を充実させるとともに、山村留学等を促進 | | |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|--------------------------------|---|--|--|---|
| 地域社会・産業で必要とされるクリエイティブな人材の育成・確保 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門高校(職業高校)において、地域産業を担う人材を育成するため、地域や企業等と連携した産業教育を推進 ○ 県内企業への就職を促進するため、経済界と連携して基金を創設し、県内大学生の海外インターンシップ等を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県出身学生に県内企業の魅力を理解してもらい、Uターン就職を促進するため、県内企業でインターンシップを行う際の経費負担を軽減 ○ 社員のキャリアパスや能力開発の考え方を就業希望者に理解してもらうため、県内企業による人材育成ビジョンの打ち出しを促進 ○ 多様な働き方を選択できるようにするため、短時間正社員、在宅勤務などを実践する企業を職場いきいきアドバンスカンパニーとして認証し、認証企業に対する減税について検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然環境の中での創作活動を望む芸術家やクリエイティブ人材等と地域との交流や移住・定住を促進するため、市町村と連携して、アーティスト・イン・レジデンスを推進 |
| プロフェッショナル人材の育成・誘致 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業と専門人材とのマッチングを推進するため、長野県プロフェッショナル人材戦略拠点を設置 ○ 企業OBの知識・能力を活用して製造業のカイゼン活動を支援するため、信州ものづくり生産革新インストラクター養成スクールの開設を支援 ○ 専門人材の採用によって県内企業の競争力を高めるため、県外在住の専門人材の採用に当たり、お試し就業等を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な技能人材の育成と技能人材が尊重される社会づくりのため、信州マイスター構想を研究 | |
| 構造的な人材不足に対応する雇用のミスマッチ解消 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の産科医等を増やすため、産科等を目指す研修医へ研修資金を貸与 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 白馬の国際的な魅力を活かしてグローバルとローカルの視点を併せ持つ観光人材を育成するため、白馬高校に国際観光科を設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統的工芸品の技術継承のため、後継者の確保・育成を支援 ○ 農業・農村を担う人材を育成するため、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の習得を促進 ○ 実践的な林業技術者を育成するため、林業の専門的知識・技術の習得を促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医師確保のため、研修資金の貸与やキャリア形成支援を実施 ○ 女性医師をはじめとする医師・看護師等の確保のため、院内保育所等での24時間保育や病児・病後児保育を支援 ○ 医療福祉人材を確保するため、圏域町村・地域医療機関等と連携し、保健師や保育士、看護師等の人材を共同確保する仕組みを構築 |

| 信州らしさを伸ばす突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|----------------------------|--|----------|--|--|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 建設産業の担い手の確保・育成のため、長野県建設産業担い手確保・育成コンソーシアム(仮称)に参画 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護人材の確保・定着のため、働きながら資格取得する経費の支援、長野県版キャリアパス・モデルの提示等を実施 |
| 5 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり | <p>多くの人を惹き付け賑わいをもたらす都市・農山村の拠点整備の促進</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住者の暮らしをサポートするため、県産材の活用や省エネルギー等に配慮した住宅改修を支援 ○ 地域おこし協力隊員の地域定着を促進するため、能力向上や起業・就業を支援 ○ 長野県での居住と大都市での仕事を両立できるようにするため、ふるさとテレワークの基盤を整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クリエイティブ人材の定着を図るため、住宅・オフィスの提供、県内企業家との交流等を支援 ○ 地域の課題解決に事業として取り組む人材を増やすため、クラウドファンディングなど資金・ノウハウ面からスモールビジネス・ソーシャルビジネスを支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中山間地域での生活サービス・交流機能を提供するため、民間事業者やJA長野県グループと連携し、公共施設や道の駅、交流の駅などの施設を活用した小さな拠点の形成を支援 ○ 都市機能の集約を図るため、都市計画ビジョンを策定し、市町村による立地適正化計画の策定を促進 ○ 住民主導のまちづくりを進めるため、事業計画を策定する実践的なセミナー等により、まちづくりのキーパーソンを育成 ○ 産業と居住をまちなかへ集積するため、空き店舗などの遊休建物を活用した事業化を支援 ○ 市町村の枠組みを越えて圏域全体で必要な生活機能を確保するため、定住自立圏構想等の自治体間連携を促進 ○ 豊かな自然環境の中での創作活動を望む芸術家やクリエイティブ人材等と地域との交流や移住・定住を促進するため、市町村と連携して、アーティスト・イン・レジデンスを推進 |
| | <p>多世代まちなか・むらなか居住構想(日本版CCRC)の推進</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ シニアの知識と経験を企業や地域で活かすため、再就職・転職のマッチングを支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者などの希望する人々が既存建物等に移り住み、多世代と交流しながら学び楽しむ活動的な生活を送り、必要な医療・介護も受けることができる地域づくりのため、多世代まちなか・むらなか居住構想(日本版CCRC)を市町村や民間事業者と連携して推進 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|--------------------------------|----------|---|--|---|
| 地域公共交通の充実による生活・観光の利便性向上 | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦略的な観光振興を地域一体で推進するため、地域の魅力をプロデュースするDMO(観光業を強化する地域における連携体制)の設置を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活交通のベストミックスを実現するため、乗継や運行プログラム等を総合的に企画調整するとともに、ICTを活用して公共交通の利便性を向上 ○ 広域的な交通ネットワークの課題を解決するため、関係者による協議の場の設置や県有民営によるバス貸与の活用など、県が主体的に対応 |
| 超高齢社会に適応した健康的で安心できるまち・むらづくりの推進 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 定年帰農を目指す移住者を支援するため、シニア向けの栽培技術講座等を開催 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きなスポーツを地域で気軽に楽しめるようにするため、地域スポーツクラブを普及・拡大 ○ 生涯にわたり健やかで生きがいを持って暮らせるようにするため、生活習慣病予防に取り組む信州ACE(エース)プロジェクトを推進 ○ 県民に身近な健康情報拠点とするため、薬局を積極的に活用する仕組みを構築 ○ 地域包括ケア体制構築のため、地域ケア会議を全日常生活圏域で設置 ○ 必要な医療・介護サービスが入院から退院・在宅時に速やかに受けられるようにするため、地域のケアマネージャーと病院との間で情報共有する仕組みを構築 ○ 必要な医療・介護を提供するため、24時間対応の訪問看護・介護サービス連携の促進、中山間地での在宅介護サービスの充実、へき地診療所への医師派遣等を実施 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|----------------------|----------------------|----------|--|--|--|
| 6 大都市・海外との未来志向の連携 | 長野県の優位性を活かした二地域居住の促進 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県と大都市との二地域居住を促進するため、県内にも生活の拠点を置く県外住民を週末信州人等として登録する仕組みを創設 ○ 二地域居住を促進するため、週末信州人等登録者に、施設利用など地域住民と同様の行政サービスの提供を促進 ○ 長野県での居住と大都市での仕事を両立できるようにするため、ふるさとテレワークの基盤を整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然環境を楽しめるようにするため、アウトドア・アクティビティ観光や山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 二地域居住者の暮らしを支えるため、NPOなど民間事業者やJA長野県グループと連携・協働し、多様な生活サービスを提供 ○ 好きなスポーツを地域で気軽に楽しめるようにするため、地域スポーツクラブを普及・拡大 |
| | 本社機能・研究所や政府関係機関の誘致 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本社機能・研究所の県内立地を促進するため、国制度に加え、国制度では支援対象とならない本社機能・研究所を対象とする県独自の助成制度を創設 ○ 研究所の県内立地を促進するため、信州ものづくり産業応援助成金の助成対象を拡充 ○ 長野県の強みを活かして政府機能の強化を図るため、政府関係機関の誘致を提案 | <ul style="list-style-type: none"> ○ クリエイティブ人材の定着と地域のイノベーションを促進するため、住宅・オフィスの提供、県内企業家との交流等を支援 | |
| | 日頃の交流・有事の絆協定の締結促進 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内と他県の市町村双方の災害への対応力を高めるため、平常時の継続的な関係を構築する総合的な防災協定の締結を促進 ○ 都市農村交流を通じた農山村活性化のため、グリーン・ツーリズムや学習旅行の受入れを促進 |

| 信州らしさを伸ばす 突破策 | 自然減への歯止め | 社会増への転換 | 仕事と収入の確保 | 人口減少下での地域の活力確保 |
|---|----------|---|--|--|
| <p>学校交流や海外行政機関との連携など大都市・海外との互恵関係の構築</p> | | <p>○ 高齢者などの希望する人々が既存建物等に移り住み、多世代と交流しながら学び楽しむ活動的な生活を送り、必要な医療・介護も受けることができる地域づくりのため、多世代まちなか・むらなか居住構想(日本版CCRC)を市町村や民間事業者と連携して推進</p> | <p>○ 旺盛な需要が見込まれる新興国等への展開を促進するため、産学官連携による国際競争力ある産業の創出や海外展示会への出展を支援</p> <p>○ 世界的課題である水不足の解消に貢献するため、アクア・イノベーション拠点に参画し、技術開発や事業化を促進</p> <p>○ 国際競争力ある航空宇宙産業を集積するため、アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区の取組を促進</p> <p>○ 国内外の旺盛な需要を取り込むため、県産酒や農産物、加工食品のブランド化と輸出を推進</p> <p>○ 林業技術や観光・環境分野での知見を共有するため、オーストリアとの技術交流を推進</p> <p>○ インバウンドや滞在交流型観光を促進するため、新ゴールデンルートの構築や無線LAN等の外国人受入環境の整備を促進</p> <p>○ 企業局電気事業の利益の一部を県民に還元するため、水力発電の電気の一部を信州発自然エネルギーとして大都市に売電</p> | <p>○ グローバル人材や外国籍県民の能力を活かして地域活性化を図るため、青少年・研修員等の相互派遣、JICAとの連携、海外行政機関との友好・経済・観光協定の締結等により、国際協力・国際貢献を推進</p> <p>○ 不足が見込まれる介護人材を確保し、介護の質を確保するため、外国人介護人材受入れのための語学・介護技術の研修を支援</p> |